

平成 24 (2012) 年さけます来遊状況 (10/31 現在)

1 カラフトマス来遊状況 : (本年の最終報告)

独立行政法人水産総合研究センター  
北海道区水産研究所 さけます資源部

- ・ 来遊数は 220 万尾 (対前年同期比 : 39.8%、対平年\*1 同期比 : 23.5%)
- ・ オホーツク海区を含む日本海側で 199 万尾 (対前年同期比 : 38.8%)、根室海区を含む太平洋側で 21 万尾 (対前年同期比 : 52.1%)
- ・ 本年の来遊数は、平成元 (1989) 年以降で最も少ない

\*1 : 平年とは、平成元 (1989) ~平成 23 (2011) 年の平均値

(北海道)

10 月 31 日現在、北海道のカラフトマス来遊数は 220 万尾 (対前年同期比 : 39.8%、対平年同期比 : 23.5%) となりました。

カラフトマスの来遊数は隔年変動することが多く、北海道では平成 16 (2004) 年以降、奇数年が豊漁年、偶数年が不漁年に相当します。今年是不漁年の年回りですが、最近の偶数年で最も少なかった平成 18 (2006) 年の 559 万尾を大幅に下回り (表 1)、平成元年以降で最も少ない来遊数になりました (図 1)。

来遊年	10/31 現在	最終
2003(H15)	1,184	1,184
2004(H16)	587	587
2005(H17)	918	918
2006(H18)	559	559
2007(H19)	1,491	1,491
2008(H20)	704	704
2009(H21)	1,111	1,111
2010(H22)	731	731
2011(H23)	553	553
2012(H24)	220	220
平年	935	935

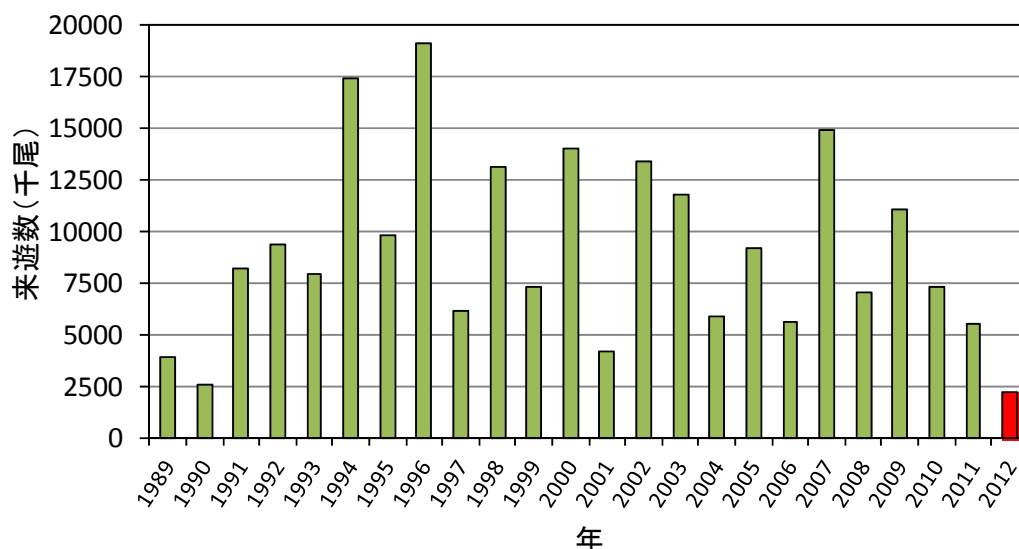


図1. 7月1日～10月31日までのカラフトマス来遊数（累計値）. 2012年は速報値.

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区及び日本海区、以下同）では 199 万尾（対前年同期比：38.8%、対平年同期比：25.0%）、太平洋側（根室～えりも以西海区、以下同）では 21 万尾（対前年同期比：52.1%、対平年同期比：15.4%）と、太平洋側、日本海側ともに、前年および平年に比べて来遊数が目立って少なくなりました。

ふ化放流に必要な種卵を確保するために、カラフトマスの主産地である網走および根室管内の沿岸漁業者が自主規制措置等の対策を講じましたが、来遊数の減少に伴って、カラフトマスの河川捕獲数は 26 万尾（対前年同期比：44.1%、対平年同期比：26.8%）にとどまりました。

本年の河川捕獲数は、最近の偶数年の中で最も少なかった平成 16（2004）年の 65 万尾を下回り、今年の値が最も少なくなりました（表 2）。また、河川捕獲数が減少したため、全道の採卵数は 1 億 2,033 万粒（対前年同期比：76.5%、対平年同期比：69.4%）と、前年および平年よりも少なくなりました。

捕獲年	10/31 現在	最終
2003(H15)	118	118
2004(H16)	65	65
2005(H17)	89	89
2006(H18)	94	94
2007(H19)	144	144
2008(H20)	92	92
2009(H21)	131	131
2010(H22)	87	87
2011(H23)	59	59
2012(H24)	26	26
平年	97	97